

科学者委員会 学術体制分科会（第 25 期・第3回）

議事要旨

1. 日 時 令和3年6月7日（水）10:00~12:05

2. 会 場 オンライン会議（Zoom）

3. 出 席 者

吉村委員長、橋本副委員長、北川幹事、佐々木幹事、伊佐、石塚、伊藤、梶田、小林（武）、小林（博）、中西、萩田、菱田、光石、望月、吉田、山田

（説明者）日本学術会議連携会員、東北大学副学長・理事 小谷元子先生

（参考人）東京大学産学協創推進本部本部長、東京大学未来ビジョン研究センター教授、東京大学副学長 渡部俊也先生

（事務局）松室参事官、川名上席学術調査員他

4. 議 事

1) 前回議事要旨の確認

- ・事前にメール配布をしていた資料1については、議場での再確認や意見はなかった。

2) 各大学における研究インテグリティへの対応に関するヒアリング

2-1) 説明者 小谷元子先生

- ・資料2に基づき、小谷先生から直接説明を受けた。

私は梶田会長と共に総合科学技術・イノベーション会議の委員を務めているが、本日は東北大学の研究担当理事の立場で本学の取組み・現状について話をさせていただく。

- ・今問題になっている研究インテグリティに関してはこれから対応を考えていくので、広い意味での研究インテグリティ（研究公正）に関する本学の現状と、これからの課題について話をする。

（以下資料に沿って説明）

-
- ・小谷先生からの講演に対して質疑応答を行った。

2-2) 参考人 渡部俊也先生

- ・資料3に基づき、渡部先生から直接説明を受けた。

私は未来ビジョン研究センターが本務であり、そこで政策的なことを研究しており、インテグリティやforeign influenceマネジメントに関しても研究という立場でやっている。

- ・東京大学としてインテグリティマネジメントの蓄積があるわけではないので、米国の状況を中心にご紹介させていただき、東京大学としてどう考えるかについて話をする。

（以下資料に沿って説明）

- ・ 渡部先生からの講演に対して質疑応答を行った。

3) 海外事例調査報告

- ・ 資料4に基づき、川名上席学術調査員から米カリフォルニア大学（UC）に関する海外事例調査報告を受けた。

4) 質疑応答

- ・ 小谷先生、渡部先生、川名先生からの講演に対して質疑応答及び意見交換を行った。

5) その他

- ・ 委員長より、今回と次回の意見交換を踏まえ、学術コミュニティとして要点をまとめることについて、次回分科会（7月1日（木））で議論したい旨が示された。
- ・ 委員長より、次回分科会以降手当を辞退することについて諮られ、承諾した。

資料：

資料1 前回議事要旨（案）

資料2 東北大学における研究インテグリティの確保について—現状と今後の対応—（説明者 小谷先生資料）

資料3 レジメ、資料1：研究インテグリティについて、参考資料1：CISTEC原稿、参考資料2：米国大学が行うハイリスクパートナーリング管理の実態と日本の大学への示唆（暫定版）、参考資料3：スライド抜粋（参考人 渡部先生資料）

資料4 海外事例調査—米カリフォルニア大学（UC）参考資料：コンプライアンス（UC）、チェックリスト（UC）（川名上席学術調査員資料）